

平成18 (2006) 年7月20日

第 32 号

発行人 世田谷稲門会 一勲夫次
発行人 土倉澤島原 邦利
編集 細寺江 原利

事務局 〒157-0067
東京都世田谷区喜多見4-33-25
川村保夫 方
TEL/FAX03-3417-7104

世田谷稲門会会報

一二五年前の教室棟復元

軽井沢セミナーハウス

母校の今
-6-

軽井沢から国道十八号線を北上すると追分宿に到る。旧古に「追分分去れ」の舞台となった場所である。早稲田大学軽井沢セミナーハウスは信濃追分駅から徒歩二〇分の所にある。

宿泊室、コテージを含め二百名以上の学生諸君が一時期

に利用可能で十二のゼミ室が広大な敷地のそこそこに点在する。中でもグリーンハウスは、その由来によれば明治十五年創立の東京専門学校（早大の前身）の教室棟であった学園第一号の歴史的な建築物を復元したものである。かつて学園創立にあたった小野梓

や高田早苗が教鞭をとり、明治四十年か



らは文学部校舎として親しまれたという。大教室では坪内逍遙、島村抱月、小泉八雲らが文学を講じ、早稲田から輩出した多くの文学者がここで

学んだ。

他にはテニスコート、バレエ、バスケットコート、野球場、グラウンド、雨天体操場等の施設があり、手入れの行き届いた構内は実に快適なスペースである。編集部が訪問したのは土曜日であったが、グラウンドでは三十人程の学生達が歓声を上げて、サッカーに興じ、五号棟セミナー室で二十名程の学生が教授を交えて熱のこもった議論を闘わせていた。緑豊かなこの環境を大切にしたいものだと痛感した。
(細澤 勲)

会 涼 納

シヤンソンの夕べ 八月十九日開催

平成十八年度の世田谷稲門会の納涼会は八月十九日（土）午後六時からこまばエミナースで開催することになった。会費は七千円。

アトラクシオンとして元世田谷稲門会

会員でシヤンソン歌

手の杉村美恵さん

（専任ピアニスト末永正博氏）に出演し

ていただくことになった。

杉村美恵さんは早稲田大学

教育学部英文科卒業。シヤン



ソン歌手のかたわらNPO法人

全国生涯学習まちづくり協会理事を務め、講演・歌等で

人の心を捉える活動を続けています。

二〇〇三年文集と講演会の「ミラボー

橋の会」を発足させ

た。タンゴにも新境地

を見つけ、情感豊かな

歌唱力、原語での歌唱

でファン層を広げている。

暑気払いに多くの会員の参加をお待ちしています。

第十五回定時総会開催

第十五回世田谷稲門会の定時総会が来賓を含め九五名の出席のもと五月十三日(土)午後五時よりこまばエミナーズで開催された。

第一部総会、第二部講演会は柏良子副会長の司会で進行。会則の規定により土倉享一会長が議長になり議事が進められた。平成十七年度活動報告・会計報告・会計監査報告、平成十八年度活動計画案・予算案および役員改選の議案が提出され、それぞれ承認された。

臨場感あふれる 実況放送を再現

杉山邦博氏

第二部では元NHKアナウンサー杉山邦博氏(昭二八文卒・日本福祉大学客員教授)に「大相撲と私」の演題で講演していただいた。

小学生のときにすでに将来アナウンサーになることを夢みていたという。早稲田時代は安倍球場に通って野球部の練習を実践に見立てて練習した。

総会終了後、来賓の早稲田大学の江夏健一副総長と広瀬剛一二五周年記念事業募金局課長の紹介があり、母校創立一二五周年記念事業募金寄付二五万円(累計一二五万円)の目録が会長から副総長へ手渡された。

江夏健一副総長から謝辞ならびに学内近況、広瀬課長から一二五周年記念事業募金の現状と寄付協力依頼の挨拶が



得意な大相撲の話題では様々な逸話を披露、なかでも名勝負といわれた先代貴乃花と北の湖との優勝決定戦はまさに目の前で取り組みが行われているような実況放送の再現で会員の大きな拍手を浴びていた。

第三部の懇親会は森昌治幹事の司会で進行した。

鈴木宏治幹事長の挨拶、来賓を代表して大田稲門会松本常男会長の祝辞のあと、星野聡史会員(昭和二六理工)の乾杯発声で開宴した。新入会員二名の自己紹介などをはじめ、最後は岩上健一副会長のリードで校歌を斉唱、細澤勲副会長の中締めで散会した。

十八年度役員・常任幹事

会長

土倉享一(昭三四政経)

副会長・幹事長

二十三区支部担当

鈴木宏治(昭三八商)

同・事務局長

川村保夫(昭三四商)

同・部会統括

柏良子(昭三一政経)

同・ブロック統括

岩上健一(昭三六法)

同・広報統括・ブロック担当

細澤勲(昭三二政経)

同・部会担当

麻生卓司(昭三四政経)

幹事・二十三区支部担当

岸田正和(昭三四商)

同・事務局会計

横田吉明(昭三八商)

同・事務局

森昌治(昭三八商)

同・事務局

荒井清(昭四〇政経)

同・広報担当

江原利次(昭三二商)

同・広報担当

寺島邦夫(昭三八政経)

同・部会担当

島田實(昭四〇法)

同・ブロック担当

兼子信子(昭四三教育)

監査役

守屋寧夫(昭三五商)

新幹事挨拶

岸田正和



スポーツ観戦について前任者の山口副会長から世話役代表を要請され専念するつもりでした。

ところが突然二十三区担当で稲門祭実行委員に指名され、稲門祭役員の鈴木幹事長の指導と支援を得て担当することになりました。つきましては稲門祭の一主要業務である福引券の完売を昨年に続き維持致したいと思っておりますので各ブロックの世話人および会員の皆様の格段のご協力をお願い申し上げます。

兼子信子

このたび女性の幹事が空席とのことで、及ばずながらお役をお引き受けいたしました。



友人から、世田谷稲門会を教えてください、というので、夫(三九年、法卒)とともに入会して間もありません。諸先輩方のお心遣いと、ご努力で成っている会に、沢山の出会いを得て、楽しく参加しながら幾分でもお役に立てたらと存じますのでどうぞよろしくお願い致します。

世田谷稲門会平成17年度決算・18年度予算 単位：円

	項目	17年度予算	17年度実績	18年度予算	備考
収入	前年度繰越 ①	994,909	994,909	1,069,387	
	年会費 ②	1,140,000	1,070,000	1,140,000	380名〔18年度目標〕
	総会費 ア	700,000	667,000	700,000	
	納涼会費 イ	1,000,000	727,000	1,000,000	
	新年会費 ウ	900,000	897,000	900,000	
	ア～ウ小計 ③	2,600,000	2,291,000	2,600,000	
	組織強化補助金 エ	400,000	416,000	400,000	
	雑収入 オ	0	103,000	0	内藤様ご寄付
	預り金 カ	0	27,000	0	年会費へ39千円、新規12千円
	利息収入 キ	10	9	10	
エ～キ小計 ④	400,010	492,009	400,010		
収入合計①+②+③+④	5,134,919	4,847,918	5,209,397		
支出	総会費用 ア	700,000	562,425	700,000	
	納涼会費用 イ	1,000,000	814,254	1,000,000	
	新年会費用 ウ	900,000	831,716	900,000	
	ア～ウ小計 ①	2,600,000	2,208,395	2,600,000	
	総会等予備費 エ	100,000	0	100,000	
	総会等講師謝礼 オ	200,000	165,000	200,000	総会・納涼会・新年会
	エ～オ小計 ②	300,000	165,000	300,000	
	諸経費				
	事務用品費	80,000	68,567	80,000	封筒代他
	通信費	200,000	148,890	200,000	各種案内郵送代他
	会報作成費	400,000	444,000	450,000	31号、32号、33号
	業務委託費・事務運営費	100,000	99,730	100,000	本部、事務局、会報業務
	部会援助費	20,000	0	40,000	
	会議費	300,000	201,572	300,000	常任幹事会他
	校友会23区活動費	300,000	155,275	300,000	支部総会、幹事会他
	HP関連費	60,000	60,000	60,000	
	ブロック会補助費	0	0	0	
	125周年寄付	200,000	200,000	250,000	累計1,250,000
	15年記念史作成費・仮称	0	0	200,000	世田谷稲門会創立15年史
	名簿作成費	0	0	100,000	
雑費	50,000	27,102	50,000	送金手数料、コピー代他	
諸経費小計 ③	1,710,000	1,405,136	2,130,000		
支出合計①+②+③	4,610,000	3,778,531	5,030,000		
次期繰越金	524,919	1,069,387	179,397		
合計	5,134,919	4,847,918	5,209,397		

*17年度次期繰越金内訳 ・小口現金22,317・普通預金469,855・郵便貯金577,215

情報ガイド

二十三区支部定時総会開催

二十三区支部定時総会は四月十八日に開催された。

第四代支部長として二〇〇

六年度の早稲田大学校友会東京都二十三区支部長に松本常男大田稲門会長が就任したほか、次の役員人事が決定した。

幹事長 渡辺博右 (大田稲門会) 事務局長 中川幹雄 (大田稲門会)

稲門祭(十月二十二日)、総長杯ゴルフ(十一月六日)などの校友会行事へ積極的に参加・協力する事を決定した。

稲門祭テーマ「つなげ、エンジの襷」

今年十月二十二日Bに開催され、ホームカミングパーティーや稲門祭アトラクションが行なわれる。

*アトラクション

◇校友音楽祭 稲門グリークラブ、ハイソ

サエティ・オーケストラ、ナレオハワイアンズ、ニユーオリンズ・ジャズクラブなどが出演予定。

◇校友講演会

著名な卒業生に講演依頼中。

◇模擬店

大隈庭園を中心に稲門会や協力団体による模擬店の出店。

*福引抽選会

一枚二千円の抽選券を事前にお求めください。ダブルチャンス券です。記念品は金額に応じてめれなくもられます。景品は自動車・パソコンなど。

総長杯ゴルフは

十一月六日Aおおむらさきゴルフコースで開催予定。



部会だより

スポーツ観戦

夜来の雨が上がった4月16日、第75回伝統の早慶レガッタが隅田川で行われた。2連敗中の我がクルーが北斗星Ⅱ(艇名)で快漕することを祈念した。ゴールとなる桜橋には数張りのテントが設営されて、その一部に両校OBが集い昔話に華を咲かせる。女子舵手付クオドルプル、第2エイトは順調に勝利を収めた。



コース兩岸では最負の小旗を手にした観客が大声で応援する。定刻15時いよいよ対抗エイトが両国橋をスタート、500m通過時に約3分の遅れをとつたが除々に差をつめ挽回、遂には2艇身の大差をつけて3000mを漕ぎ切り、林仁哉キャップ以下歓喜の雄たけびを高らかに挙げた。3年ぶりの勝利にOB達も満足気であった。

通算成績は40勝34敗1同着となった。

(成田秀久/撮影・細澤 勲/記)

ボウリング

当部会は毎月1回世田谷オークラブオウルにおいて、渋谷稲門会と合同で例会を開催しております。1レーン2~3名で隣レーンと交互に、声援と拍手を送りながら、楽しく投球をしております。

最近の活動実績次の通りです。

3月26日(日)、参加者13名。(1ゲーム高得点ベスト3)

175点江口力、150点佐山順孝、133点宮木甫。

江口さんがスタート直後3連続ストライク、以後も絶妙の制球力で技能派の面目躍如。

4月30日(日) 参加者15名 184点山口進吾、167点江口力、154点宮木甫。

山口さん、球の曲りが素晴らしく、ストライク3、スペアー6のプロ並の投球。久しぶりの高得点、お見事!!

5月は日曜日、団体貸切のため予約とれず止むなく休会。

6月4日(日)、参加者13名。

166点天野善弘、142点清水廣一、139点高橋善一郎。

先月新入会の天野さん(39法)、スピード豊かな投球でトップ、若きホープ誕生!!

ボウリング1ゲームあたりの運動量は約40キロカロリーとか。3ゲーム投げるとジョギングなら20分、ゴルフなら35分程度に相当する由。健康と趣味を兼ねて、さあ皆さんボウリングを始めてみませんか。家族同伴大歓迎、部員一同お待ちしております。

(武藤 哲/記)

釣 り

2月22日 鹿島沖カレイ船釣り、7名参加(秋元、阿部、高橋、成田、国沢、吉村、柴田)波高3mの荒天、船酔い続出、全くの不漁、0~5匹

3月18日 狩野川本支流、溪流 寺島、柴田2名 10時30分~16時 場所を変え攻めたが、全く当り無し。

4月8日 地藏堂川 溪流 伊藤 柴田2名、ニジマスのみ20cm級頭に3~7匹、アマゴ出ず。共に40cm級イワナらしきに糸を切られた。

4月23日 金沢八景、イシモチ、カサゴ船釣り、阿部、成田、吉村、国沢、柴田5名、12~20匹やや不漁

5月6日 地藏堂川 溪流、今年初めて35cmサクラマス(銀毛代ヤマメ)出る。川虫羽化始まる。柴田

6月4日 飯岡沖 中アジ、花鯛 5名参加(阿部、成田、高橋、吉田、柴田)薄曇、波無し朝から中アジ花鯛入れ喰い。釣10本に全てアジがかかる事もあり、久しぶりの大漁、全員満足。

今後の予定

6月25日 銚子外川港よりキス沖釣り

7月1~2日 狩野川本支流 溪流 鮎友釣り

7月平日 勝浦沖イサキ船釣り、日程未定

7月30日 飯岡沖キス船釣り、飯岡港降正丸

8月27日 ワカシ、サバ茅ヶ崎沖釣り

(柴田 昇/記)



囲碁将棋

世田谷稲門会囲碁将棋部第24回囲碁の会開催

梅、桜も終わり、ツツジの季節を迎えた6月4日(日)「囲碁サロン石庭」にて世田谷稲門会囲碁の会を開催。参加者総勢15名。商議員で校友会幹事の志水一夫8段を迎えて碁戦を行う。早稲田囲碁部出身の大庭7段も指導碁に加わり、世田谷稲門会囲碁部もかなりレベルがアップしてきた。武藤6段、斉藤6段、蒲原5段が順当に勝ち進む。1局又1局と局面が変わる。一手一手に力がこもる。そこに打つにはそれぞれ意味がある。相手にとって意味のある手、ひびく手が毎回打てるようになると上達したことになる。序盤中盤寄せでそれぞれの着手の意味が理解できれば碁は更にうまくなる。4局をあっという間に打ち終わる。時間がたつのも早いものだ。5時半まで対局し後は懇親会場へ。ここでも囲碁談義。9時頃まで飲みかつ食べ、そして懇談。懇親会場を後にする。

第6回オール早稲田囲碁祭りに参加

6月10日(土)に開催されたオール早稲田囲碁祭りには当囲碁部より10名2チームが参加した。この囲碁大会には年に1回、23区のみならず三多摩千葉横浜神奈川より約350名の早稲田マンが市ヶ谷の日本棋院に参集し、一同に会し、囲碁大会を開くもので、世田谷稲門会囲碁将棋部にとっても一大イベントのひとつである。今回はB組武藤6段を筆頭にチームで参加し3位に入賞した。真に喜ばしい限りである。

食べ歩き

1. 2月26日、平成17年度第3回例会を開催。参加者37名。今回はトラットリア的で気軽な雰囲気のお店「カルミネ」(神楽坂)で最高のイタリア料理とイタリアワインを心おきなく堪能した。前菜・パスタ・メインディッシュ・デザート・エスプレッソのそれぞれの美味を満喫しワインに酔い談論風発大いに歓談は弾んだ。時たまたまイタリアのトリノ冬季五輪フィギュアスケートでの母校早大出身の荒川静香(平16教)(金メダル)村主章枝(平15教)(入賞4位)の活躍情報で盛り上がり、イタリア・レストランの雰囲気の中で心は「トリノ」であった。



解散後は三々五々神楽坂地区を散策。近年街並みが、かなり変貌して歴史を伝える老舗が少なくなったとはいえ和の風情を残す毘沙門天の商店街や今も路地裏の石畳や料亭などに花街界独特の雰囲気が漂っていて、下町とはひと味違う神楽坂独特の文化的雰囲気を楽しんだ。

2. 4月1日平成17年度第4回例会を開催。参加者29名。世田谷奥沢地区の閑静な住宅街の一角にあり、緑の樹木に囲まれた「ラ・ビュット・ボワゼ奥沢」でフランス料理とワインを堪能。明るいガラス張りのメインダイニングから満開の桜や美しい草花が咲き誇る庭園を眺めながらリラックスな気分になり、最高の悦楽であった。解散後は近くの九品仏浄真寺を訪ね桜花爛漫の3万6千坪の広大な境内を散策した。戦国時代に築かれた奥沢城の土塁が今も周辺に残り西方浄土の世界という寺院配置(本堂が西向、中庭を隔てて向き合って三仏堂「九品仏」があり阿弥陀如来が西方から衆生済度を約束してくれる)の本堂や三仏堂の仏像を拝観参詣し高僧の懇切丁寧な説明や法話を拝聴した。(大須賀 肇/記)



麻雀

1. 3月11日(土) 穏やかな晩春の一日、26名の善男善女が祖師谷大蔵の雀荘「天狗」(以下同じ)に集い熱戦を展開した。試合は草谷氏が初回と最終回に大量得点をあげ、三回戦迄トップの上保氏、二位の暮田氏をうっちゃり初優勝を遂げた。優勝 草谷好孝 準優勝 上保幸夫 三位 秋元孝禧 四位 暮田忠雄 五位 下谷内堯 六位 阿部信之

2. 4月16日(日) ぐずついた曇天にもかかわらず、麻雀が三度の飯より好きな男女が27名集い口と技を競った。初参加の亀山氏が飛ばし優勝を狙える順位につけていたが、最終回遠慮した隙を病みあがりの上保氏がつき、追い上げる池田氏を年令差で押さえ久方ぶりに優勝カップを手にした。優勝 上保幸夫 準優勝 池田良夫 三位 秋元孝禧 四位 亀山寿夫 五位 江口力 六位 脇坂元彦

3. 5月20日(土) 日本晴で絶好の行楽日和にもかかわらず24名の紳士淑女が集い丁丁発止の戦を展開した。試合はリーチ開け即ツモが十八番の草野氏が持てる才能をフルに発揮し、二位以下にダブルスコアに近い大差で優勝した。その煽りで6割強のつわものがマイナスに落込む惨事となった。優勝 草野昭次 準優勝 郡山弘文 三位 寺澤隆夫 四位 能俊彦 五位 菊池吉晏 六位 蔭山康夫

当部では会員価格で雀荘と契約して居りますので「自由潤達に麻雀を楽しむ会」にも皆様のご参加をお待ち致しております。(下谷内 堯/記)

写 真

写真部会も4年目に入り、昨年から例会が決まった場所（東京農大校友会館）で実施出来る事で順調に開催しています。今年も1月には第2回目となった新年会会場での写真部会メンバーの写真展（12名で23点）を開催し、さらに今年初めの世田谷稲門会会報に紙上写真展を掲載して頂いた事は写真部会会員にとって大きな励みになりました（参加者12名）。例会は2月、3月、4月と開催し、4月19日は有志の参加により高尾の森林科学園で自然風景の撮り方の勉強を行いました。例会は半年に5回開催を予定しています。作品を撮らないときついかもしれません、写真が無い場合でも参加すれば他の方の作品が見られ非常に参考になります。5月は撮影時期の最中なので例会はお休みし、6月15日（木）に開催、14名参加しました。この日は会員最長老の桜木武比古先輩の88歳（米寿）のお祝いをしようと例会は2時間で切り上げ、お昼からお祝い会を行いました。桜木先輩からは戦時中の体験談（戦地の状況等）をお話して頂きました。大変感慨深いお話で一同感動致しました。

今後の予定は7月19日（木）、8月は休会、9月21日（木）となっています。今後は第3木曜日が例会予定日です。
（種谷 鴻成/記）

ゴ ル フ

18年度の開幕戦となった第46回ゴルフ部会コンペは、4月4日（火）中津川CCに於いて開催され、満を持して会員45名が優勝を目指しスタートして行きました。皆様の精進の賜か、当日は絶好のゴルフ日和りと、今日が一番の見ごろと思われる満開の桜を満喫しながらの熱戦となり、次の方々が優勝等に輝かれました。優勝—総合：亀山寿夫さん、Gシニア：井澤貞夫さん レディースベスト賞：犀川千代子さん、

続きまして、第47回コンペが6月2日大月CCにて開催され、梅雨入前の生憎の曇り空でしたが、新緑映える爽やかなグリーン上を42名の参加者が熱戦を繰り広げました。当日はクラブ側の特別企画日に当り、プレー費が一打百円というワンストローク・プランの適用を受け、一同優勝を目指すと共に費用節約に励み好スコア続出となり、次の方々が栄誉を勝ち得ました。

優勝—総合：矢野貞行さん、Gシニア：永井憲一さん シニア：菊池吉晏さん レディースベスト賞：竹入啓子さん

今回より、70歳以上の会員増加に伴い、より楽しんでいただくためにシニアクラスを2分割し、グランドシニア（75歳以上）及びシニア（70歳以上）優勝者の表彰を行ことと致しました。また、今後のスケジュールが次の通り決定致しましたので多数の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

第48回：9月15日（金）足柄森林CC

第49回：11月16日（木）飯能GC

{総長杯コンペ：11月6日（月）おおむらさきCC}

（熊谷 慶紀/記）



左から 井澤さん、犀川さん、森さん
（亀山さんは所用により表彰式 欠席）



左から 竹入さん、矢野さん、永井さん、菊池さん

カラオケ

3月25日（土）、第23回例会を用賀のカラオケサロン「ドレミファクラブ」で開催しました。参加者は長老内藤先輩（101才）御夫妻をはじめ総勢25名、当日は「プロ歌手と唄おう」という特別企画（第2回目）で最近人気上昇中の中堅演歌歌手、対島一誠プロをお招きしました。まず同プロが持ち歌数曲を熱唱、続いてリクエスト、デュエット等を経て当人の代表歌である「対馬海峡」に斉藤代表世話人はじめ数名の部会員が挑戦しましたが、なかでも内藤夫人が、この男節を歌ったのが印象的で、プロご自身もびっくりしていました。

対島プロは、各地でのディナーショー等で多忙な人ですが、世話人の知人ということもあり、友情出演してくれました。この会の感想は、「皆さんレベルが高い。特に自分の歌を歌ってくれたことに感謝します。」と大変喜んでおりました。プロとの共演のあとは、数名づつ個室に分散、各自の自慢のどを披露、最後は全員で「上海帰りのリル」を斉唱して散会しました。

当部会の今後の活動予定は、6月24日（土）に例会（ドレミファクラブ）、9月18日（月）～19日（火）に特別部会「カラオケ・温泉の旅（伊豆長岡、三溪園）」等を企画しています。ご期待下さい。
（蒲原 信一/記）

ウォーキング

関東地方が梅雨に入って最初の日曜日(6月11日)、朝から雨であったが、これからは毎日同じように雨ということで思い切って歩こうと決め、有志7名で「寅さんの銅像」のある京成柴又駅を出発した。帝釈天の参道は降りしきる雨にも拘わらず大勢の観光客で歩くこともままならない。帝釈天にお参りした後本堂の周りの彫刻ギャラリーと奥の庭園を拝観する。雨に洗われた新緑を見ながらの休息であった。丁度昼時となったので川千家で名物のうな重を注文する。約40分待たされた甲斐あってうなぎは美味であった。これでいくらでも歩ける筈であったが、雨足が更に強くなったので無理はしないという結論に達した。

折角ここまで来たのだからと「寅さん博物館」に行ってみる。当時の撮影のミニスタジオが出来ていて、その雰囲気に入れることが出来た。続いて地元ゆかりの資産家山本邸を見学する。大正から昭和初期の素晴らしい和風庭園を望みながら琴の演奏を聴き、美しい菖蒲の花を鑑賞、そしてお茶を頂く。その美味しかったこと。

今日の我々は「歩く会」でなく「食べて歩く会」であったと笑いあった。最初の予定の花菖蒲の水元公園は次回に回し、最後に「矢切の渡し」に行くも雨の為船は出ていなかった。そこで写真を撮り今日の行程は終了とする。(約9800歩)
(寺澤 隆夫/記)

ブロック会だより

玉川

いつも多彩な行事を企画している玉川会で、今回は趣を変えて皇居参観、見学会を行いました。9時30分東京駅丸ノ内中央口に参加15名が集合し、皇居桔梗門から入苑しました。参観は提出名簿による許可制で変更はきかない厳しさでしたが、入苑すると皇居内は115万平方メートルと広大な濠に囲まれた新緑の美しい別世界でした。まず、宝明館で皇居内参観についての注意事項と見学コースをビデオを見て説明を受けました。参観コースは宝明館→元枢密院→富士見櫓→宮内庁庁舎→宮殿東庭→宮殿→伏見櫓→正門鉄橋(二重橋)のコース。閑静なたたずまいの皇居ならではの美しさを2.2kmのコースでしたが、清々しい雰囲気を味わうことが出来ました。特に二重橋を折返し優雅な伏見櫓と宮殿の眺めは絶景でした。参観後はパレスホテル直営の大手町ファーストスクエア23階の「宴」で美味しい昼食を食し、歓談がはずみ参加者全員が満足した楽しい一日でした。



(岸田 正和/記)

西北

「都の西北」ならぬ、世田谷稲門会「西北会」は、目下総勢51名。毎回、それぞれの分野で活躍された会員の皆さんに交代でスピーチをお願いし、質疑・意見交換を行って、その後の懇親会でいつも会を盛り上げています。発足以来回を重ね12回になります。

大先輩の皆様のご託宣で「若手の38年卒で事務局を勤めよ」となり、外ではもう中老の寺島・松浦・熊谷・横田の同期4人が世話人を仰せつかっております。

もちろん、ご託宣を下された先輩諸氏にはサポーターと言うよりはアドバイザーとして常づね、影に日向にご指導をいただいております、しばしば幹事会と称して杯を重ねアドバイスをいただいております。

なお、世話人の代表は発足以来、寺島邦夫さんが担っておりましたが、医療関係の機関の立ち上げに携わることになり多忙のため、代表に松浦晋三郎さんが就くことになりました。ご支援よろしく申し上げます。〔寺島さんは引き続き世話人として松浦さんを支えます〕



直近の西北会は、6月23日〔金〕青山のNHK青山荘で、斉田秀雄さん〔27・政経卒〕にスピーカーをお願いし、斉田さんが代表をされている世田谷区の無形文化財「三土代会」〔天保年間以来の伝統の餅つきを保存〕の歴史と活動をビデオを交えて講演していただきました。毎年1月第三日曜、代田八幡神社で一般公開をするほか、小学校・区の新年会文化祭などにも出演しており、皆さんもご覧になる機会もあると思います。

(横田 吉明/記)

〔訂正及びお詫び〕

31号のこの欄の桜木武比古氏の談話のなかで「保護監察官時代に」とあるのは「保護司時代に」の誤りでした。

訂正しお詫び申し上げます。

(寺島 邦夫)

さくら



第9回世田谷稲門会さくら会は6月11日(日)11:30AMより桜新町イタリア料理の店「ラビアンタ」で、本部から鈴木幹事長、川村事務局長を迎えて開催。総勢14名。梅雨の季節に入り、例年よりやや参加者は減ったが日曜日でもあり他と行事が重なり止むを得ない。鈴木幹事長より大学での稲門祭行事、川村事務局長より新名簿発行の説明等あり。初参加の大塚一行さんの自己紹介の後、能さんより国会見学の説明、江原世話人より最近の俳句の会の活動状況や選句の紹介、矢田世話人よりブリッジクラブ、内外古建築・古美術勉強会等のたちあげの可能性等の報告があった。

以上、さくら会としては部会の活動を通じて今後とも音楽、観劇鑑賞等を含めて文化活動・教養等の分野を豊かに盛り上げて行きたいと考えています。

国会議事堂見学会の実施

6月14日(水)さくら会主催による国会議事堂見学会を実施。参加者総勢23名、国会は国会議員の紹介がないと見学できないが、世田谷区出身自民党の越智隆雄衆議院議員及び平将明衆議院議員の紹介で実現した。10時半より広い国会の中、衆議院議席、参議院議事堂本会場、憲政記念館等を見学、近くのホテルで皆で会食後解散。

(矢田 廣/記)



けやき

「けやき会」では、今年3月末の役員(世話人)任期満了に伴い、(5月13日・世田谷稲門会総会日)役員改選を行いました。旧役員の皆様にはご尽力ありがとうございました。新役員には活動の世話宜しくお願いします。

さて、本年度第1回懇親会を7月19日(水)に予定しております。場所は創立125周年に向けて整備の進む母校西早稲田キャンパスの「大隈記念タワー」(旧第2学生会館跡)15階レストラン「西北の風」です(17時30分受付)。当日は、銅像前で記念撮影後、総長室廣瀬課長の「母校の近況」のお話を伺いながら夜景を楽しみ、納涼の一時を過したいと世話人一同、皆様のご参加お待ちしております。

(代表世話人 下谷内亮・副代表武居達治/記)

キャロット

ワセダOBの落語家柳家さん光が「三代目甚語楼」を襲名し真打に昇進したことを披露する「稲門寄席」を6月25日に開催しました。



当日、会場の「三軒茶屋シアターラム」の240人席は満員の盛況となり、一年間、この準備をしてきた世話人六名(奥田、森谷、渡辺、森、富塚)は、感慨無量でした。

ブロック会として初の企画でしたが、稲門会会員各位の力強いアト押しがあったからこそとお礼申し上げるとともに、これを機縁にして、相互に交流の輪が広がって行くことを期待しています。

(荻原 健/記)

千 歳

第七回親睦会を下記の通り開催。

- 日時 18年6月18日(日) 午後5時30分～8時
- 場所 居酒屋たつみ本店(京王線:下高井戸)
- 参加 22名
- 講演 「ボランティアで日本語を教える」(保倉進氏、昭25法)

今回は当会会員保倉さんに、本年4月から3ヶ月東マレーシアにおいて、現地の子女に日本語教育を行ってきた体験談を、具体的な資料を使って分かり易くまた面白くお話ししていただきました。現在、当会最長老の同氏が元気にボランティアでご活躍されている姿を見て、全員勇気づけられ、まだまだ頑張らなければという気持ちにさせられました。

終了後は、本部より副会長の柏良子さん、川村保夫さんの特別の出席をえて親睦の宴。和洋折衷の料理に盃を酌み交しながらの談論風発、各人それぞれのお好みの話題に花を咲かせての楽しい2時間。蒲原さんの中締めで次回の元気な再会を約し散会。

(人事)

当会発足以来3年間、世話人としてご尽力いただきました土倉享一、山口進吾両氏は退任。今後は下記5名にて会の運営を行っていくことになりました。

- (留任) 武藤哲(代表・28法)、鈴木宏治(38商)
- (新任) 豊田恵之助(33政経)、蒲原信一(会計・33政経)
- 矢尾板煥二(事務局・37商)

(武藤 哲/記)

「会員のひろば」

ブログに挑戦、六八歳

岩上 健一(昭和三六年度)

十数年前のことである。ただ会社勤務の時代に取締役会議の席上で社長から提案がなされた。役員全員にパソコンを持つてもらおう、会議資料の紙が多過ぎる、これからは出来るだけペーパーレスにしたい、営業部からの社長への連絡も電話でなくパソコンでメールを打って欲しいとのことであった。

これは大変なことになった、機械音痴の上に食わず嫌い、頭から「冗談じゃない、今更



何がパソコンだ」と言うのが当時の僕の本音であった。しかしながら、社長の提案どおり、早速、役員の机には新しいパソコンが配置された。半日の講習でスタートだ。分かるわけが無い、パソコンに詳しい女子に聞いてもらったり、出張先から見てもらったり、忙しいことを理由にして、極力パソコンに触れなかった。

中にはすっかりパソコンにはまってしまい、一日中、席にすわってパソコンと遊んで？いる人も居た。陰でパソコンボーイなんて呼ばれているのは知る由も無かったであろう。僕の一人よがりだと思いが、殆んどどの役員が僕と同じ様な考えではなかったかと。パソコンが配置されてから時間がたつたが、不思議と社長からは特にうるさい要求も無かった。

皆ほっと安堵の胸を撫で下ろしたに違いない。社長自身も自分でやってみて皆の気持ちがかかったのだらうと勝手な解釈を決め込んでいた。まあこれからはパソコンの時代だから役員さんも勉強して下さいよ、と言う粋な計らいを

してくれたのだと良い方に理解した。

こんな事が僕とパソコンとの出会いの始めであった。従って会社時代にパソコンに関しては全く進歩が無かったといっても良い。折角のチャンスを生かさず、社長さん御免なさい！ところが三年前のこと、新聞のチラシで、すぐ近所にパソコン教室があることを知って、やって見るかと飛び込んだのだ。

やって見ると、面白い、奥が深い、すっかりはまってしまった。あの時少しでもパソコンに触れていなかったら、こんな事にはならなかったであろう。メル友なんでも出来て結構楽しんでる。興味が有ったら、僕のブログを覗いて見て下さい。

<http://blog.goo.ne.jp/on-the-rock/> くれを打ち込むと楽しい？ブログを見ることが出来ます。貴方も食わず嫌いじゃありませんか？つまらぬ我を捨ててパソコンに取り組んでみて下さい。違った世界が広がり、楽しいですよ。ボケ防止にもなりますよ。

私の俳句開眼

高橋悦男（昭和三四文研）



て私はこのコースをとって帰京した。当時の道路は、未舗装で、道幅も狭く、バスは大揺れに揺れた。クーラーもないから窓は全開。その窓から、おびただしい蝉の鳴声が、耳を聳するばかりに聞こえて来た。

後年、俳句を作るようになった時、私はこの時の状況を思い起こし、天城嶺に空も経なす蝉しくという句を作った。これが私の俳句開眼の句となり、以後私は本気で俳句を作るようになった。

私が早稲田大学に入学したのは昭和二十八年。その頃は実家のある伊豆の下田にはまだ鉄道が開通していなくて、上京する時は、下田から伊東までバスで出て、そこから国鉄（現JR）に乗りかえて東京へ出て来た。朝八時の下田発の急行バスで伊東まで三時間、伊東から電車で三時間、午後二時半ごろ東京に着いた。

上京の道筋はもう一つあった。それは下田から天城越えをして修善寺へ出、そこから電車で東京へ行くコースで、これだと下田の町まで出ずに、わが家の近くのバス停で乗れるので、帰省を終わって上京する時には私はよくこのコースを使った。

入学した年の夏、お盆に帰省したあと上京する時、初め

俳句同好会

さくら会では平成十七年十二月に俳句の会を発足させ、高橋悦男先生ご指導のもと会員十二名が毎月一回先生より頂いた兼題一句と自由句二句を持ち寄り桜新町集会所で和氣藹々の楽しい句会を開いております。

第六回俳句の会は五月八日に兼題（筍）の句を中心にして開催されました。

参考までに、当日の句会で高橋先生が特選に選ばれた二句を紹介いたします。

素岳（遠藤昌宏さん）
矢の脱ぎ散らしたる皮光る

素行（林 素行さん）
行く春の飛行機雲の白きこと

六月の兼題は「苺」なので、会員の皆さんは苺を食べながら楽しい俳句を作られている事と思います。

利水 江原利次（記）

我が家と早稲田

池田良夫（昭和三六年法）



私が生まれた家は、お寺の過去帳から約二百八十年ぐらゐまで遡ることが出来るようだが、早稲田大学との縁は、母方の祖父から始まったようだ。

甲州街道が新宿から宿駅を重ねて行く最初が高井戸宿だ

が、祖父は、製氷業と廻園式の料亭吉田園を経営していた。明治時代の三多摩は、自由民権運動などの温床となった様に政治意識が高かったが、どうも院外団として政治家のスポンサー的存在であつたらしい。

祖父は東京専門学校第三代校長鳩山和夫の後継者として活躍した。明治十四年の政変が勃発して、小野梓は大隈重信の幕下となり立憲改進黨の結成となるのだが、早稲田の政治の源流は現在まで引き継がれているといえよう。

鳩山家は四代に渡り政治家を輩出しているが、和夫も名誉校長的な存在でシンボルとしてあり、実務は高田早苗学監が行っていた。

私の手元に母の形見として、鳩山和夫の手紙が表装した巻物としてあるが、昔の政治家の生活がうかがえて実に面白い。やがて大学の図書館にも寄付するつもりでいる。

次に私の父方の祖父の妹つまり大伯母の嫁ぎ先が杉並区のと和掘で、地主だった横尾家と第七代総長の大浜信泉と縁があり、何かと実家にもど

つてくると「大学は早稲田にしないさ」、「早稲田が一番よ」などとハツパをかけられた。

それゆえだからではないが、兄弟六人の内、長兄、三兄、私が早稲田、私の二男も学院から法学部と親父とまつたく同じ道を歩んでいる。末弟は兄貴たちが早稲田なら己は慶応だと塾を選んだが、結婚式の時紹介された嫁が、なんと早稲田の文学部出身。縁は粋なもの、一寸と溜飲が下がった思いだ。

ちなみに父の末弟も早稲田の専門部出身で航空部のグライダーを見せてくれた思い出がある。私は学院が戸山から石神井に移った時の生徒、良きも悪きも早稲田を満喫している。

国会弁の翻訳

栗山佳三（昭和二七年商）

最近議員や官僚たちの言葉遣いもすこし変わってきたようですが、まだまだ普通の日本語とは違うようですので、翻訳を試みたいと思います。こゝ趣旨を体しませて、前向き

に努力するにやぶさかではありませぬ」これを翻訳いたしますと、貴方のお気持ちはよくわかるが、まあ、あなたそりゃあできないよ」てな事になるわけがあります。次に「私なりに最善の努力をしてみます」これは「最低の努力ぐらひはするが、おそらく駄目だろう」という国会弁であります。「ご意見は、ご意見として承っております」これは「そつちはそういうが、ご要望には沿いかねます。「慎重に対応して参りたいと存じます」これは「一応聞いておきますよう」という意味。それから「なお研究を続けて参りたいと存じます」は本当のところ「こちらでは余り研究する気もないが、あなたの方だつてそのうちに忘れるかも知れないし、第一、落選するかもしれないでしよう」てな意味であります。総理や幹事長がよく言う「解散のことは頭のスミにもありません」これこそ典型的な国会弁でありまして、近々解散するんだが、今わが党にとつてもっとも有利な時期を頭のスミで考えているので、ギャーギャー言わずに黙

つてろ」ということであります。この頃傑作だと思つたのは橋本元総理が、齒科医師会から？億円を貰つた時の取り調べに對し、「客観的に事実」だろうと、誠に「哲学的な回答」をしたことです。「主観的」に彼はどう考えていたか、議員も記者たちも追及しなかつたようです。橋本さんは比較的に綺麗な人だったので、これで済んでしまいました。

テレビやラジオの発展の時代、国会でも正確でわかりやすい日本語を使うよう望みたいものです。

「会員動向」

花田玲子さん(昭和五五政経)

「懐かしの映画音楽アルバム」コンサートに出演

当会会員でシャンソン歌手の花田玲子さん(昭和五五年政経)が石井好子さん、雪村いづみさん、デュークエイセスさん等と左記チャリテイ・コンサートに出演し二曲歌います。



記

コンサート「懐かしの映画

音楽アルバムPart

—第三七回高齢者など福祉活動推進のためのチャリテイショウ

【日時】九月三〇日(土)

午後四時開演

【会場】東京厚生年金会館

大ホール

【入場料】S席六千円

【申込み】花田まで

電話・Fax

三四一九一九四八八

hanane@nifty.com

パソコン同好会会員募集

一昨年から有志で開催してまいりましたパソコン勉強会を今秋から本格的なパソコン教室を借りて開催することになりました。

参加ご希望の方はご連絡ください。

記

名 称 世田谷稲門会

パソコン同好会

開催場所 昭和女子大学オー

ブンカレッジ

世田谷区太子堂一七

開催日時 九月より三月まで

七回

第二水曜日十八時三十分〜二

時三十分

設 備 会場には二十台の

パソコンが設置されています。

募集人数 二十名(満員にな

り次第締め切ります。)

講習内容

インターネット入門

メール入門

ワード、エクセル入門

前半1時間は講義、後半はお

互いの質疑応答

費用 一万円(七回分。除く

教材費)

なお、入会申込者には、これ

までに勉強した内容を収めた

CDを進呈します。

また、パソコンに関するご

質問をメールでお答えするほ

か、インターネット接続や、

PCの立ち上げのお手伝いを

無料とする等のサービスも検

討しています。

連絡先

世話人代表

荒井 清(昭和四十年政経)

〒158-0081 世田谷区深沢八

一七二四

電話 5707-5678

Fax 3703-4228

イーメール

aradesjp@yahoo.co.jp

「会員のひろば」「会員動向」原稿募集

会員の皆様の積極的な投稿をお待ちしています。題は自由です。なおご希望があれば会報編集者が取材して原稿にまとめます。ご連絡ください。

(会報編集幹事一同)

新入会・休会・退会の正誤・住所移転等のお知らせ

「名簿（平成16年4月発行）・会報31号記載事項」以降（敬称略）

（新入会員）

氏名	卒年	郵便番号	住所	電話	FAX
水澤美栄子	昭54文	個人情報につき不掲載			
高津 真	昭54理工				
堀 龍児	昭41大阪市立				
大塚 一行	昭35商				

*堀 龍児氏 現職・早稲田大学大学院法務研究科教授

（転居）

前原 祖彦	昭5理工	
-------	------	--

（休会会員）

氏名	卒年
榊原 麻莉	平03文

（退会会員）

氏名	卒年	退会理由
松川 好孝	昭53政経	
金子 英一	昭53政経	
中島 彪	昭30商	
吉田潤一郎	昭41商	

（変更・訂正事項）

氏名	卒年	訂正事項
雨倉 敏弘	昭46法	
柏 良子	昭31政経	
沼田 安弘		
能 俊彦	昭30法	

*訂正事項につきましては謹んでお詫び申し上げます。



編集後記

シリーズで掲載している「母校の今」。今回で7回目になります。その都度現場へ取材に行くのが楽しみです。今回軽井沢セミナーハウスの取材に当っては管理人の大嶋健司殿に大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。何かの折にお立ち寄りになると歓迎して下さいる事を請け負います。

（細澤 勲）

今年も早や1年の半分が過ぎ去り、7月の猛暑を迎える季節となりましたが、会員の皆様には元気でお過ごしのことと思います。

この暑い夏を乗り切るためには、人それぞれの健康法を色々取り入れていることと思いますが、特に夏場の昼寝の効用が大きいと聞いていますので、この会報を読みながらうたた寝をするのも良いのではないのでしょうか。

（江原 利次）

突然4月からクリニック（病院）へ常勤で勤務することになりました。

4年間「毎日が日曜日」で過ごしていたので、身体が切り替わるのに時間がかかりました。同時に平日にやっていた会報の編集作業なども週末に集中して混乱しています。

ように努力します。

（寺島 邦夫）